

【NATAS Holidays 2012】

2012年8月24日（金）から26日（日）までシンガポールエキスポ（Singapore Expo）で開催された「NATAS HOLIDAYS 2012」に参加し、日本政府観光局（Japan National Tourism Organization（以下、JNTO）」と協力して、来場者に日本各地の観光情報を提供したので、下記のとおり報告する。

1 「NATAS Holidays 2012」の概要

(1) フェア概要

NATAS HOLIDAYS は、シンガポール全国旅行業協会（National Association of Travel Agents Singapore: NATAS）が毎年8月と2月に開催する一般消費者向けの国際旅行フェアであり、旅行会社主催のパッケージツアーや航空券の販売、各国政府観光局による情報提供等が行われている。今回の8月の開催は、秋・冬向けの旅行が主な販売対象となっている。また、今回は過去最高の出展者数となった。



NATAS HOLIDAYS 2012 屋外

日時：2012年8月24日（金）～26日（日） 10：00～21：30

開催場所：Singapore Expo Hall 3B,4&5

入場料：S\$4

（約252円 2012年8月24日現在 S\$1=約63円）

出展数：172団体

（内訳）政府観光局等：49 旅行会社：53 旅行関連会社：18 ホテル：17

銀行：8 クルーズ：5 スポンサー：6 レンタカー会社：3

航空会社：7 その他：6

(2) 来場者数

今会期中の来場者は主催者発表によると65,822人となった。2010年8月開催70,469人、2011年8月開催67,051人と比較すると減少した。また、北海道といった知名度のあるブースを除いて、ジャパンパビリオンへの来訪者も例年より少ないように感じられた。

(3) 販売状況

NATAS HOLIDAYS 2012 全体の売り上げは1億80万シンガポールドル（約64億円 S\$1=約63円）であり、前年度の1億シンガポールドルより8%増となり、過去最高を更新した。主な国別販売先は下記の表のとおりであり、日本は前回同様5位に入っている。

	2010年8月	2011年8月	2012年8月
1位	台湾	中国	欧州

2位	韓国	韓国	中国
3位	日本	台湾	韓国
4位	欧州	欧州	台湾
5位	中国	日本	日本

また、国内の訪問先としては、JNTO シンガポール事務所が実施した訪日旅行購入者への調査によると北海道が圧倒的に多く、続いて、関東、中部、関西となる。

2 「ジャパンパビリオン」概要

(1) ジャパンパビリオン

NATAS 正面入り口付近に、日本の魅力を総合的に発信するとして、秋の紅葉をイメージした統一装飾を施したジャパンパビリオンが設置された。今回は、パビリオン内にミニステージが設けられ、浴衣の着付け教室や忍者によるチラシ配り等が行われた。



ジャパンパビリオン

(2) 出展団体（下記 21 団体）

富山県／長野県、九州観光推進機構、新潟県、大阪市&ユニバーサル・スタジオ・ジャパン、公益財団法人東京観光財団、東北観光推進機構、中央内陸県連合広域観光推進協議会（山梨県・長野県・岐阜県）、山ノ内町観光連盟、静岡県、三井不動産株式会社、財団法人北海道観光振興機構、あさひかわ観光誘致宣伝協議会、ニセコフリーパスポート連絡協議会、東京ディズニーランド、三重、愛知・名古屋、びわこビジターズビューロー、和歌山県、(財)沖縄観光コンベンションビューロー、横浜市・川崎市・小田急電鉄株式会社・京浜急行電鉄株式会社、日本航空株式会社

(3) VJ（ビジットジャパン）カウンター

ジャパンパビリオン内の VJ カウンターは、訪日旅行に関する総合的な案内窓口となり、来場者へ各種観光パンフレット等の配布や説明、質問への対応等が行われた。合わせて、訪日旅行購入者向けの抽選、訪日旅行に関するアンケート調査が行われた。

3 VJ カウンターにて

開催期間中、受けた質問を分類すると下記のとおりとなる。

(1) 気候・季節について

秋口の気候・気温。花・紅葉の見頃。

果物狩りについては、可能な時期・果物について。

花・紅葉といった自然については、どこに行けば良いのか、お勧めの場所について。

(2) チケットについて

JR パスについての問い合わせが多い。JR パスが便利で安いと理解されているが、利用方法については周知不足のようである。特に、目的地とパスの対象エリアに関する相談とともに、安く効率的に巡るにはどのチケットを選べばよいかという質問が多かった。

(3) ホテルについて

個人手配の方は、ホテルの紹介をお願いされることが多かった。その際、価格情報も重要となるが、訪日旅行は高いというイメージのために、安いホテル紹介の希望もあれば、高くとも払うだけの価値があると思われた宿は訪日の度にわざわざ訪れることにされている方もいるようであった。

(4) 放射能について

福島的位置。東北が安全かどうか。また、東京が安全かという質問が多かった。

日本の放射能問題についてというより「Fukushima」「Tohoku」の両地名を挙げて、安全性を尋ねられることが多かった。また、北海道を除いて、北には行きたくないから九州に行くという声が聞かれた。

放射能については、直前の Thai International Travel Fair (8月16日から8月19日開催) ではこうした声が聞かれなかったことから、シンガポールにおいては、依然として漠然とした不安が蔓延していると言える。



頑張ろう！仙台／東北ブース

(5) テーマパーク／アトラクション

シンガポールでは家族旅行の需要が高く、ディズニーランドやユニバーサルスタジオといったテーマパークの情報を求めに来る人が多い。子供と一緒に楽しめる施設の紹介が喜ばれるとともに、訪問動機となるようである。

ジャパンパビリオン、VJ カウンターには、日本各地の情報を求めて人が訪れる。個人旅行の需要が高い当地では、都市以外のエリアの情報やモデルルート情報が喜ばれている。旅行会社も新たなツアーを造成するために目新しいパンフレットがないか見に来られる。とは言え、知名度のない地域では、せつかく情報提供を行ったとしても、単発の情報提供であったり、NATAS での販売がなければ、実際の訪日にはなかなかつながりにくいのではないと思われる。

4 シンガポールからの訪日旅行の状況

JNTO シンガポール事務所の報告によると、シンガポールからの7月単月の訪日者数は8,400人であり、2011年同月比7,870人より6.7%増となったものの、H1N1で大幅減となった2009年、震災の影響を受けた2011年に次ぐ低水準で2006年から2007年の人数に近いとのことである。

1月から7月の累計では、アジアの中では2010年比で14.7%減と韓国の18.5%減に次ぐ減少率であり、訪日旅行全体の累計3.6%減を大きく上回る状況が続いているとのことである。

日本関連のニュースは、良くも悪くも大きく扱われており、日本の原発問題や放射能問題、洪水といった災害に関するニュースは世界のニュース枠のトップニュースとして扱われることが多い。これが地震・台風等の被害がほぼないシンガポールにおいて、訪日旅行を敬遠する理由の一つになっていると考えられる。

合わせて、円高ユーロ安からのヨーロッパへの旅行需要喚起、LCCの台頭、日本からシンガポール行き需要が好調なために、シンガポール発の航空座席確保が困難な状況が続いていることも、シンガポールからの訪日旅行客数が回復しない理由と考えられる。



九州観光推進機構のキャラクター「キューちゃん」来星

5 併催事業について

(1) シンガポール日本商工会議所会員との情報交換会、交流会

2012年8月24日（金）、JNTO シンガポール事務所足立所長の案内による NATAS HOLIDAYS 2012 の視察、出展団体と日本商工会議所会員企業との情報交換会、交流会が行われた。

情報交換会の中では、シンガポール側からは訪日旅行の状況について、セルフドライブによる九州観光紹介テレビ番組放映について、シンガポールの日本食事情について、出展団体からは東北観光推進機構より震災後の状況及び取組について紹介された。

(2) 商談会

NATAS HOLIDAYS 2012 閉会後の2012年8月27日（月）日本人会館にて観光庁・JNTO 主催による商談会が開催された。40 団体が商談ブースを設け、シンガポール側の訪日旅行を取り扱う旅行会社等に質問への対応の他、セールス、新たなツアー造成のための資料提供等を行った。出展した団体のうち、自治体関係団体は下記のとおり。



商談会の様子

（出展団体：自治体関係）

北海道観光振興機構、あさひかわ観光誘致宣伝協議会、東北観光推進機構、秋田県、仙台市、福島県、新潟県、富山県、公益財団法人東京観光財団、公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー、岐阜県、長野県、山梨県、松本観光コンベンション協会、山ノ内町観光連盟、静岡県、「愛知、名古屋・三重」、和歌山県、神戸市、びわこビジターズビューロー、九州観光推進機構、財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

6 イスラム教徒への対応

世界のイスラム教徒の人口は2011年時点で約21億人いるとされている。これは世界の人口のおよそ1/4にあたり、そのうち、アジア圏の人口に占める割合は約32%となる。^{注1}これまでの訪日旅行は富裕者層の多くを占めるとされていた中華系が主なターゲットとされていた。しかし、裾野を広げていくためには、今後、イスラム教徒への対応は避けては通れない課題と思われる。

イスラム教徒が訪日した際に一番の問題となるのは、食事である。海外からの日本食に対する評価は高いにもかかわらず、イスラム教徒にとっては、日本では食べるものがないと心配されている。徐々に日本でも関心が高まっているところであるが、イスラム教徒が安心して口にすることが出来る「ハラール・フード」への対応を進め、日本の食の豊かさをアピールしたいと思う。現時点ではハラール・フード認証に関する国際的に統一された規格は存在しないものの、厳格なマレーシアの規格に準じればイスラム教徒に拒絶されることはないと言われている。

なお、今回 JNTO 作成のパンフレットの中にイスラム教徒向けのファミトリップの様子を紹介されたものがあつた。今後、対応可能なレストラン情報についても集約される予定とのことである。

注 1 : Muslim Population in the world <http://www.muslimpopulation.com/>

7 所感

今回 NATAS では、ホームページだけでなく、フェイスブック、ツイッターによる情報発信が行われた。JNTO シンガポール事務所においてもフェイスブックを利用されており、13 万人以上のファンを獲得している。当事務所の所管内では、今後もインフラが整備されるに従い、Facebook といったソーシャルネットワークの利用者が更に増えるのではないかと考えられる。タイムリーな情報や視覚に訴えることができる写真の掲載については、ホームページより情報の発信が容易で、リアルタイムに双方向のやり取りが可能な Facebook は口コミ効果も期待が出来、メジャーな観光地を制覇し、次なる訪日先を探しているシンガポールの皆さんにより細やかな情報を発信するには利用価値のあるツールではないかと思われる。

(NATAS HOLIDAYS 2012 参加に伴う聞き取り等)

(原田所長補佐 山口市派遣)